

SL ネットワーク会員のみなさまへのご案内

シンポジウム開催

「パートナーシップに基づきサービスラーニングをどう進めるか」

日本において大学を中心に取り組まれていた社会参画学習（サービス・ラーニング）は新学習指導要領の施行等の変化を受け、初等・中等教育まで実践が進んでいます。

サービスラーニングにおいて、人々や組織間のパートナーシップの形成は重要な基盤となるものの、具体的な方法は、これまで十分に明らかにされていませんでした。私たちはサービスラーニングにおいて、どのようにパートナーシップを結び、評価・改善を図っていくのか、こういった議論を進めるにあたり科研費研究（挑戦的萌芽）「初等中等高等教育におけるパートナーシップに基づくサービスラーニングの実装化」を進めています。

本シンポジウムでは、3名の実践／研究者にご登壇いただき、ご自身の実践をもとに報告していただきます。その際に、米国で開発された SOFAR モデルを参考にパートナーシップがどのように図られているのか、それぞれの実践をもとに検討を深めます。サービスラーニングにおいてパートナーシップを深めるために何が必要で、何が障壁となるのか、SOFAR によるパートナーシップを考察するうえでのキーワード「近接」「公正」「誠実」も参考にしながら検討していきます。

久しぶりの対面でのシンポジウムとして企画されており、日本におけるサービスラーニングの成果と課題をぜひみなさまと分かち合う議論したいと考えています。みなさまの積極的なご参加を期待しています。

※本研究は科研費（挑戦的萌芽）研究「初等中等高等教育におけるパートナーシップに基づくサービスラーニングの実装化」の中間報告（課題番号 21K18479）として実施します。

日時：2023年2月26日（日）13時30分～16時30分

当日は大学生の地域参画の拠点として機能している「クラフトビレッジ西小山」への訪問と情報交換会を予定しています（17時すぎから2時間程度）。

場所：東海大学高輪キャンパス（東京都港区高輪2-3-23）4号館

開催方法：対面（録画を期間限定で公開）

登壇者：川田麻記（桜美林大学）、

杉原真晃（聖心女子大学）、

高松森一郎（ぐんま国際アカデミー中等部・高等部）

司会者（コーディネーター）：唐木清志（筑波大学）

備考

・シンポジウム開催のご案内を会員のみなさまにお送りいたします。参加申込等のご案内は1月中に改めてご連絡をいたします。

・今後の感染拡大状況により、開催方法をオンライン等に変更する場合があります。

・クラフトビレッジ西小山：<https://www.ur-net.go.jp/aboutus/publication/web-urpress67/special2.html>

12月に福島大学と首都圏の学生が企画したイベント：

<https://craft-village-nishikoyama.com/news/1217-event/>